

京丹波町議会の飛躍的・抜本的改革を目指して

- 1 目指すべき方向性… 「子育て世代や有能な人材を議会へ」
- 2 そのためには… 議員が専門的、専従的に専念できる環境整備が必要
- 3 解決すべき課題… より機動性に富んだ議員定数と、財政改善を見通せた中での多世代から立候補可能な議員報酬額引き上げ

想定する議員定数・報酬・委員会

- 1 定数 … 12人
- 2 報酬 … 月額280,000円 (基本：特別職報酬等審議会審議事項)
- 3 委員会 … 議会の機能強化と行政の複雑化、専門化に即応するための常任委員会を必要に応じて組織するものとし、できるだけ全議員が情報共有できる委員会体制とする。

目指す議会活動の姿

- 1 定数減による住民意見の収集・掌握は、住民参加機会の増加を図る取り組みの中で、インターネットを活用した多様な意見の収集、議会報告会、各種団体・組織等との意見交換、CATVの活用、アンケート調査等々の手段を通して行い、議会活動に反映していく。
- 2 ICTなど急速に変化する社会情勢に即応した町づくりとして、住民福祉の向上に役立つ環境づくりを目指す。
- 3 会議において、目的の議案についての審議が終わった後に、喫緊の課題等について執行部との質疑応答や議員間討議の機会を設け、相互の情報や価値観の共有を進め、政策形成における役割や関係性をより明確化していく中で「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」という議会の使命を達成することで、真の「二元代表制」の実現を目指す